

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020030

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	1 推進体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	社会体育団体活動費助成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	団体数		#N/A	
事業目標	体育連盟～20 スポーツ少年団～4	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 スポーツ団体の加入・育成	関係例規・法令名	無	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	体育連盟・スポーツ少年団の育成、活動支援に努めるとともに自主的、主体的な活動を促す。	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)
	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,700	540	540	540	540	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,160	540	540	540	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,160	540	540	540	540	
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	100%	100%	100%	0%
	全体達成率 20%	40%	60%	80%	80%	
	備考欄					

事業名	社会体育団体活動費助成事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋 藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	体育連盟、スポーツ少年団	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加盟団体の維持								
【抱える課題やニーズは】	各団体の会員数減少に伴う体育活動の低下。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各団体は自主財源の確保が難しいことから、活動費の一部を助成することにより、活発な活動を促す。	① 体育連盟加盟団体数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>14 団体</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>14 団体</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	14 団体	実績値	14 団体	達成度	100.0 %
目標年度	平成28年度										
目標値	14 団体										
実績値	14 団体										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民のスポーツに対する関心を高めるとともに、地域の活性化を図る。	② スポーツ少年団加盟団体数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3 団体</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3 団体</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	3 団体	実績値	3 団体	達成度	100.0 %
目標年度	平成28年度										
目標値	3 団体										
実績値	3 団体										
達成度	100.0 %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	体育連盟、スポーツ少年団への助成	実施報告書・計画書の提出を求め、活動内容を精査し助成する。(体育連盟400千円・スポーツ少年団140千円)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	体育連盟・スポーツ少年団は本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通じ町民の交流を深め、将来の指導者を育成する役割を果たしている。また、町の活性化にも繋がることから、各単位団体を育成・支援することは、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	各団体の主催事業、参加事業など主体的な活動が図られ、期待した効果が得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	各団体から事業報告・決算状況を徴取し、活動内容を精査し適正な助成を行っていることから、効率性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体に対する助成であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を担っている団体への補助は、生涯スポーツを推進する上で重要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
スポーツは、地域の活性化を促進させるとともに、人と人、地域間の交流を深める有効な手段である。また、少年団活動は、協調性や競争意識などを養う場であることから、今後も活動支援が必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止